

## 雲南市立阿用小学校 心に残る文化財子ども塾

6月20日(月)には、雲南私立阿用小学校の6年生8名のみなさんと一緒に、奈良時代の体験学習をしました。最初に、出雲国風土記に記された「阿用」の由来や周辺の遺跡について学び、歴史の教科書の内容が自分たちの身近にもあることを知ってもらいました。次に、二班に分かれて和同開珎作りを行ないました。溶かした金属を鑄型に流し込むという、当時と同じ作り方で作成します。鑄型から銀色に輝く和同開珎が現れた瞬間、一斉に「おおー」という歓声が起こりました。最後は大仏パネル作りです。1辺1m四方のシートを188枚組み合わせて、実物大の奈良の大仏を作ります。かなりの重労働ですが、生徒たちは互いに声を掛け合いながら抜群のチームワークで作り上げていきました。今回の授業では、歴史の知識だけではなく、みんなで協力して作業を行なう大切さを学んでもらえたと思います。



▲ 低融点の金属を溶かしています。いつ溶けはじめるか、みんな興味津々！



▲ 溶けた金属を鑄型へ流し込みます。真剣な面持ちで作業しています。



▲ 大仏パネル作りの1シーン。胴体と頭を作るチームに分かれました。だけど最後は…！？



▲ 上手くつなげて無事完成！

### 【学習後の感想】

- ・私は、お金づくりを昔の人みたいにたくさんつくってみたいと思いました〔児童〕。
- ・大仏作りはみんなで協力できてよかったです〔児童〕。
- ・昔の金を作るのがおもしろかったしきれいに出来てよかったです〔児童〕。
- ・子供が驚く顔の連続で忘れられない学習になった。「もう一度やりたい」と終わった後で言うほど、工夫できる場所があった〔先生〕。

雲南市立阿用小学校6年生のみなさん、先生方、ありがとうございました！